



こんにちは
市会議員

井坂博文

議会報告
2016年4月24日号
です

発行/日本共産党北地区委員会：京都市北区紫野雲林院町78/電話432-3261/F A X 441-4968

岡崎ウォッチング調査



4月11日、左京区の企画「岡崎地域ウォッチング」に赤阪市議と参加。
まず、ロームシアター(京都都会館)のチェック。「疏水沿いのトイレがなくなり不便。その分をシアター内のトイレを使えるようにしたい」というが、少ないしわかりにくい。「蔦屋にレストラン、スターバックス。これでは公共施設というより、商業施設やないか」「しかも夜遅くまで営業しているの、明るすぎるし、うるさい」などの声。
運動の先頭にたち、近所で喫茶店を経営しているマスターの店で昼食を食べて、午後は美術館ウォッチング。
用意された整備計画資料を元に、富樫前市議が現状と計画案をわかりやすく説明してくれて、私も大いに参考になった。参加者の感想や意見を改めて出してもらい、今後の議会論戦に活かしていきたい。

ところで、平安神宮前の公園内にある「舞妓体験処心のトイレ」って知ってましたか？これが「ネーミングライツ・トイレ」です。
「ここが聞きたい」として、後援会が開いた「第4回暮らしと政治こんだん会」に浜田府議と参加。
私は、市長選挙をたまたかした論戦と政策がその直後の予算市会にどう生かされたのか、敬老乗車証、入所待機児童問題を例に示して報告。
また、京プラン実施計画で市長がどのように市民サービスと福祉を削ろうとしているのか、生活保護費削減と大宮消防出張所廃止、市バス運賃などへの消費税転嫁を例に示して話した。
その後の懇談では、介護職場における人材確保の考え方、「女性の活躍」が京都市ではどう図られているか、観光客頼みで市民生活がどう図られているか、などの質問や意見が出され、丁寧にお答えした。
報告会に続いて、関西勤労協の中田進先生が「今の情勢と戦争法廃止の運動と私たちの課題して講演。いつものように巧妙な語りどわかりやすい資料を駆使して、アツというまに予定の時間が過ぎ、最後は「参院選挙で大河原さんの勝利と日本共産党の躍進を」と締めくくっていただいた。

暮らしと政治こんだん会



4月10日、鳳徳地域後援会が開いた「第4回暮らしと政治こんだん会」に浜田府議と参加。
私は、市長選挙をたまたかした論戦と政策がその直後の予算市会にどう生かされたのか、敬老乗車証、入所待機児童問題を例に示して報告。
また、京プラン実施計画で市長がどのように市民サービスと福祉を削ろうとしているのか、生活保護費削減と大宮消防出張所廃止、市バス運賃などへの消費税転嫁を例に示して話した。
その後の懇談では、介護職場における人材確保の考え方、「女性の活躍」が京都市ではどう図られているか、観光客頼みで市民生活がどう図られているか、などの質問や意見が出され、丁寧にお答えした。
報告会に続いて、関西勤労協の中田進先生が「今の情勢と戦争法廃止の運動と私たちの課題して講演。いつものように巧妙な語りどわかりやすい資料を駆使して、アツというまに予定の時間が過ぎ、最後は「参院選挙で大河原さんの勝利と日本共産党の躍進を」と締めくくっていただいた。

京都まつりにお越しください

4月29日、宝ヶ池公園で開く京都まつり。井坂ファンクラブが恒例の地酒とハタハタ焼き、筍のみそ焼き、鶏のから揚げを出店。店は、中央舞台に向かって右の端の通路沿い、北区上京区の後援会のなか。ぜひお越しくださいませ。
また昨年、発足した「平和を願う広島県人会」が満を持して初イベントとして、京都まつりで広島焼の店を出す。そこで、右京区の広島焼の店をお借りして、試食を兼ねた打ち合わせを2回おこなった。



マスターが自慢するだけに、確かにうまい。薄い生地には細かく千切りにしたキャベツが甘くて、お多福ソースの甘さと絡み合って絶妙のハーモニーを醸し出している。
県人会の店は、北上京後援会テントの隣、井坂ファンクラブと背中合わせ。絶好の位置関係にあり、これは忙しくなりそうだが

京都に春を呼ぶ やすらい祭り

北区では4月の第二日曜日は京都に春を呼ぶ「やすらい祭り」。年配の方は、親しみ



傘に入ると、一年間健やかに過ごせる」
「初めてこの祭りを迎える赤ん坊は、花傘に入ると、一生健やかに過ごせる」
という言い伝えがある。
橙色の札を掲げて休憩所を設けて、花笠を先頭に練り歩く巡行を迎え、赤鬼・黒鬼によるやすらい踊りを踊ってもらい、お茶やお菓子で労をねぎらい、お神酒を奉納する。
町内のみなさんと傘に入れてもらい、無病息災を祈願した。

をこめて「やすらいさん」と呼んでいる。京都の三大奇祭の一つとされ、
「祭の日が晴れば、その年の京都の祭事はすべて晴れ、雨ならばすべて雨が降る」
「桜や椿などで飾られた花

広島にて



非正規雇用の弟が、職場の合理化により配置転換され、精神的にまいって仕事を休んでいるので、様子見と今後の相談に帰り、家周りの片付けと掃除をしてきた。

妻は玄関のたたきの草取り、私は弟と溝に溜まった枯葉の掃除、途中から妻も参戦。

溝に溜まった枯葉をスコップと熊手ですくいだし、一輪車で畑に積み上げていく。

それにしても、地域の衰退は厳しい。写真の集落の半分は親が寝たきりか施設に入所、子どもは街に住んでいる。田んぼの世話もままならない。うちの田んぼも3年間耕作できてない。なんとかしないとほんとに限界集落になってしまう。